

朝日村DXワーキンググループ 第1回検討会

日 時：令和4年5月23日(月) 13:30～17:00

場 所：朝日村役場 大会議室

6. ワークショップ…… “ DX 動向を学び、感じたこと ”

- ① 解決すべき課題は ② 課題解決のためのDXをどうすすめるか

☆ SCOP 驚見

皆さんお疲れ様でした。

今日は初回のインプットということでいろんな情報を3時間ぐらい聞いていただいてお疲れのところと思いますが、どうなさいました、お疲れさまでした。

このDXワーキング・グループは7回やって、ここでいろいろな情報を皆さんが学習をして、その上で朝日村DXの推進計画でどの部分に力を入れてたらいいかとか、ある程度考えて今年度中にも計画にまとめるというふうに聞いております。

今日の後半にお話のあった、業務システム（リームス）ですかね、標準化していく部分で義務としてほとんどやらなきゃいけないっていうところで、いろんなデータベースの中統合していけるように仕様をかえていくことがあるんですが、

それは最低限やることとして、それ以外にも先ほど須坂とか塩尻とかいろんな事例がありましたけれども、自治体によっては自主的にいろんな取り組みをしているというところがあるので、これから情報提供あるにしても、朝日村でどの部分はDXをやっていたらいいかっていうところを、今日聞いた話で感じたことなんかを元に一回出してみようというのが今日の場です。

聞いただけで終わらないで少し考えたことを共有しましょうといった場です。

今日のテーマは机の上にあります、今日感じたことっていうことです。

1、2とあるんですがはじめはWhatの部分です。朝日村でどういうことにDXも使っていったらいいかってことで、こういう分野のこういう問題に対して使ったらどうかとか、真横で他所でやっていたアשמたいなのなんかいいんじゃないかって、何かこれがあったらいいなっていうのが1個目の問です。

2つ目が、それひとしきり出した後でいいと思うんですが、どういうふうにそれを進めていったらいいかっていう話になります。

はい、あの2つ目は今日あまり具体的にどうしてかって話まではあまり今日情報提供ではなかったかもしれないですけど、県の場合だといろいろやりましたね、何か推進委員を各課に置くとか、みんなが使うのを徹底するために何かルール作るとかなんか色々ありました。

そこは気はあまり出ないかもしれませんが、いくつか①の方をだし、食うえて②の方も話してみたらどうかな、どんなことが課題になってくるのかな。

その前提として、何かDXに2つあるっていう話は今日あったんですけど、庁内の業務の効率化とかをやる行政のDXの話と行政の内部の効率化の話と、もう一つはその各分

野ですね医療とか交通とか防災とか、いろんな分野でその地域の DX っていうのがある程度強要強行政ももちろん関与するんですが、もう少し個別課題の DX もあると思うんですよね。

今日は職員の方も多いので、庁内ではこんなことやったらどうか、バスに関してはこのことやったらどうかっていう、その2つの視点があると思うんで2つの視点でまずどんなことやってたらいいかなとか、っていうところを今日の感想とともに述べていただいて、それを今日記録係の人もいるので記入をしていただくんですが、話した瞬間、意見がどんどん消えてしまうってところもあるので、一応付箋に書いたりしてそれを見ながらまた加発想を膨らませるってのをやってみていただきたいなと思います。別のファシリテーションというか、フューチャーデザインとかの関係でもワークショップの練習もやっていたりするので、今日はその経験者の方にファシリテーターをやってもらえればと思っております。

はい、そうすると大竹さんとか高山さんとかですね、武田さんもそうですね。

という辺りで、皆さんに話を振ってですね、出したものを整理しながら話を進めていただければと、概ね30分ぐらいですかね、

はい、というところで①、②を色々出してみただければと思います。今日の感想も言いながら、何か1つずつ1つ2つまず出してみ、これは朝日村でやった方がいいんじゃないのっていうところから、話を広げていただければと思います。

◇ チーム1発表

こちらのチームです。

黄色いについてが、解決すべき課題はということで付箋の色を付けました。2番の課題解決のためのDXをどうすすめるかというところをピンク色の付箋でまとめました。

いろいろ出していただいた中でちょっとラベリングをしたところです。

左上のほうは公共交通ということで、それぞれ高齢者の利便性、くるりん号、買い物バスの利用状況とかがこう見えるような、村内にいても今バスどこに走ってるとか、混んでるとか、そういったことがわかるようなことが課題ではないか、それに対しては、なかなか朝日村だけでは対応できないので広域連携が必要ではないかとか、運行状況が分かったり空き時間の状況とかが分かるっていうようなこと、相乗りができるできないってことも対応として必要ではないかということ、公共交通の1つの取り組みということ。

また、左下のほうは庁内ということで、打ち合せ議事録の作成とかの入力の手間の削減だとか、職員間のコミュニケーションというところもあの今日体調不良で欠席とかっていうところとかについても、なかなかその電話でっていうよりもこう、例えば、あのチャットだとかで情報共有ができれば、他の係の人たちも係の中だけでも「今日、体調不良でお休みなんだなっていうことがわかれば、ワンストップで対応できる、ただそういったところに組織の中でルールを作る必要があるのではないかっていうこととか、文字起こしのシステムを導入したほうがいいのではないかっていうような。

また、職員でテレワークどこまでできるのかとかというようなことも、1つ課題としてなっています。

また、防犯カメラを活用したらどうかっていうことで、これによって例えば公園などで安心して遊べる、混み具合とかも分かるし、また、あのスケートリンクとかだったら赤旗が上がってれば、今すぐ滑れない、でも1日ずっと滑れないんじゃなくて滑れる時間は白旗になってれば今滑れるようなこと、告示放送で言わなくても情報収集する人の能力でできるということ、また、ファミマの直売品、今野菜が人気で売り切れてると、じゃあの農家の人たちからしても出品できるなどか、そういったところに防犯カメラを活用することでいろいろと密にならないコロナ対策にもつながっていくようなことが考えられるのではないかと。

また、こういった使い方以外にもやはりその活用とかスキルっていうところで高齢者の講習が必要とか、年代によってDXを利用するのが難しい、情報収集の方法とか、それは村民だけじゃなくて職員の中でもスキルの差があるのではないかと、ってようなことが課題として挙がっています。

またそれ以外に、こういったことは分野ことではないんですが、全体を通し電子マネーの導入だとか電子申請の導入、また防災情報とか農業情報の発信というようなことも、これからDXを使って活用すべきことではないかということ意見が出ました。

◇ チーム2発表

私たちの班、一応初回ということでDXについて課題ということであの意見を出していただきました。赤が①の課題、黄色が②の解決する為っていうことで出してもらったんですが、内容によっては入り乱れてるところがあります。

まず、①の課題としては、業務用でのそもそも職員の理解度とか、それから住民の理解度それからコロナで常会に集まれない、イベントとかアンケートとか、あとは公共交通の関係で高校生とか高齢者が利用しにくいこと、DXが生かせるんじゃないかということ意見が出ました。

それから、説明の中でもあったんですけど、電子申請とかをしてもらおうと、現在紙申請してもらおうというものが集計やあのデータに反映するのが非常に楽になるわけですが、結局、電子申請をやるためには操作の説明を理解していただいて、若い人も高齢の方もやっていただかなければならないし、それ以外に、そもそも一人暮らしの高齢者とか、在宅介護についてもDXをどうやっていかせるのかっていうこと、それから農業については、販路の拡大とかサポートをDXでできないか、それからインフラですね、水道とか下水道とか道路とかの老朽化へのデータっていうのも、DXで蓄積して効率よく回れないかという課題を上げていただきました。

それに対して課題解決するためにどうしたらいいかっていうことですが、1つとしてはチャットボットを充実させて、住民の課題解決みたいな簡単な質問とかは今すぐ解決できるようなシステムづくりをしていくとかですね、村営バス、バスの関係も塩尻市の「のるーと」の仕組みがあるそうですが、そういったものをやっていくとかですね、そうい

ったことでいろいろ課題解決ということで意見は出たんですが、ただ1番はDXに対して住民、職員の理解ってのが1番大切なんじゃないかなということ、それから一応だいぶ普及してますがスマートフォンとかインターネットパソコンがまだまだ使えない方とか持っていない方とかいますので、そういった方々に対するサポートみたいなところを、非常に重要じゃないかなってということ、それから、こういった仕組み作るのにも全部コストがかかるので、そういったコストとか、あとは導入するタイミングを考えてやることが非常に重要じゃないかなってということで意見が出ました。

以上です。